

著 堂 語 林
譯 郎 一 正 村 吉

アモエユの那支



書 新 波 岩



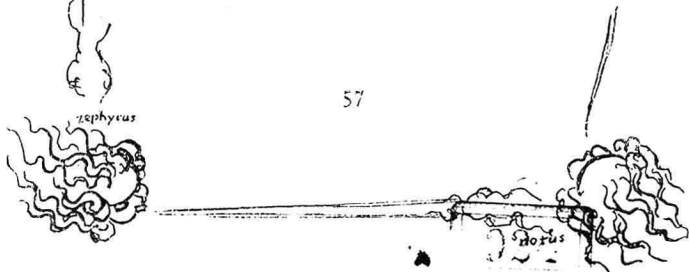
菅 肇 一 正 村 吉
議 郎 一 正 村 吉

日本財団支援

笹川良一記念文庫

財団法人日本科学協会

57



4

昭和十五年一月二十五日印
昭和十五年一月三十日發行

支那のユーモア

定價五十錢

(三編製本)

岩波新書

譯者

吉村 正一郎
よしむら しょういちろう

發行者

岩波 茂雄
いわなみ すすむ

印刷者

島連太郎
しまむら じょう

三秀會印刷

發行所

東京市神田區
一ツ橋二丁目三番地

岩波書店

電話(33) 〇〇一八七
九段 〇〇一八七
〇〇一八八
〇〇一八九
〇〇二〇〇
振替口座東京二六二四〇番

小店出版物中、萬一不完全な品(落丁・亂丁等)がありましたら、御手数取ら、洩れなく御申出下さる事を御願ひ致します。たとへ御読後でありまして、早速お取替致します。

著者の言葉

この書物の目次にはべつに何の意味もない。賢明なる読者は目次通りにはきつと讀まれないであらう。目次通りに讀むのは最悪の讀書法である。ただ老婆心から云へば、スケッチ風のものには旅中のつれづれに極く無意味なところを讀んで戴きたいし、諷刺的なものは廻りくどい長談義を拜聽させられる委員會の集りなどで、睡氣さまじに讀んで戴きたい。またエッセーはそれとは全く反對に睡氣をさそふ目的で讀んで戴きたい。そして、さういふ目的なら、この書物は枕頭の書としてお薦めしても間違ひがないかも知れない。

目次

如何に支那人を理解すべきか	一
支那藝術の精神主義	一九
支那建築の原理に關する覺書	二五
アフオリズム	三三
私は何を欲するか	三五
パートランド・ラツセルの離婚に就て	四三
言論の自由に就て	五三
支那人の年齢	六〇
或る茶食家の告白	六四
吾は杭州へ行かず	七〇
大晦日の記	七七

服飾倫理學	八四
幽默三題	九〇
私の好きな支那人の諧謔に就て	一一〇
握手に就て	一一八
合理的な衣服に就て	一二四
河 南 路	一三〇
リンドバーグ大佐への公開狀	一三五
竹の文明	一四二
映畫の涙	一四九
支那の犬物語	一五四
借金を拂つた驢馬	一六〇
支那と英國	一七〇
譯者後記	一九一

如何に支那人を理解すべきか

〔原註〕 英國婦人聯盟主催上海婦人團體合同委員會における講演。(一九三五年一月十六日)

皆さんは支那の萬里の長城の話をお聞きになつたことがあるでせう。しかし萬里の長城は一つでなく、三つあるといふことは多分御存知ないかと思ひます。この三つの長城が建てられた目的は一つであつて、それは支那人と外國人とを離れ離れにさせておくためであります。これら三つの長城のうち二つは支那人によつて建てられたのですが、第三の長城は、これを建てるのにあなた方もあづかつて大いに力があつたのであります。第一のものは北支にあります。飛行機の時代において、これはもう餘り物の役には立ちません。第二のものはより威力があり、支那を眞に深く知ることから、あらゆる外國人を遠ざけるのに頗る成功してをります。この第二の長城のために、外國人が二、三十年間も支那で生活しながら、支那人が何を考へ何を書き新聞紙上で何を論議してゐるやら知らないといふやう

な事もないではありません。外國人が支那人を理解することの出来ないのは、多くの場合この長城のせゐである。この事を私は疑はないのであります。かう申せば、この第二の長城が何であるか、皆さん既にお分りになつたでせう。それは支那語における漢字といふものであります。この防禦手段によつて、吾々はあなた方の面前で少しも氣づかれずに、さんざん悪口が云へるのであります。支那の役人たちは聲明する場合に二つの違つた云ひ方をすることが出来る。即ち、その一つはあなた方に聞かせるためであり、今一つは吾々支那人に聞かせるためである。ジョーン・サイモン卿が英國民に云はれることは萬人に公開された一冊の書物であります。支那の閣僚が吾々に對して云ふことは支那人だけを相手にしたものであつて、そこに外交上の祕密があるのであります。他の如何なる國も現代において、かくのごとき獨自な國際的防衛手段をもつてゐるものはありません。それからまた、吾々が筆蹟を分り難く書けば、あなた方は誰しも怖れをなして逃げ出しておしまひになる。尤も、かつな先生方は別であります。かういふ人たちは數に入らないし、また吾の方でもちつとも恐れるに足りないのであります。第三の長城、これは最後の、そして最も効果的なものであつて、これこそ眞の萬里の長城と云ふべきものであります。これ

は上海にあるのであります。この長城は吾々が同じ都會に住み同じ町を歩いてゐながら、支那人と外國人とを引離す不思議な力をもつてゐます。この上海の長城は魔法的な牆壁であつて、これあるがために支那人の姿は外人に見えず、外人の姿は支那人に見えないのであります。つまり、皆さん方は毎日吾々をごらんになつてゐるけれども實はごらんになつてゐない、また吾々の方でも皆さん方に毎日お目にかかつてはゐるが、その實お目にかかつてゐないも同然である。この牆壁あるが故に、外人たちが雜鬧した支那町を散歩しても、そこには支那人はただの一人も存在しないと云つてよいのであります。この長城は、もしあなた方にそれを見る眼がおありになるなら、既にとつくの昔にごらんになつてゐる筈であります。この長城はあの秦の始皇帝の長城よりも登るのは難しいけれども、もしあなた方が觀光客の好奇心をお持ちになつてゐるなら、一度午後にも散歩がてら登つてごらんになるのも一興かと思ひます。その頂上からすばらしい景色をごらんになるでせう。あなた方はこの城壁の一方の側に支那人が住んでをり、他の一方の側に外人が住んでゐるありさまをごらんになるであらう。さうして、吾々がお互に近いところになら、しかも全く離れて暮らしてゐるその暮らし方に一驚されるでせう。形而下的には支那人と外國人は

おそらく日々接觸してゐるでせうが、精神的には云はば路傍の人である。彼等はいりまざらなければならぬ筈のものが實はさうでない。そこに世界で八番目の不思議、上海の万里の長城が存在するのであります。何千といふ觀光客が年々上海を通り過ぎるのであります。この八番目の不思議を見せられたことはない。こんどお國へ便りをなさる時には、お友達へこの不思議を見に来るやうに勸めて戴きたいものであります。そして、これは自分自身の眼で見なければほんたうとは思へない、世界のほかの何處にもないものであると、どうかかうお傳へ願ひたいと思ひます。

他の二つの長城の建設については、吾々支那人において全責任を負ふべきでありますけれども、この上海の長城をかくも堅牢なものとするのにあづかつて大いに力のあつたのは、皆さん方外國人だと云はなければなりません。不幸にして、これはあなた方にとつてですが、あなた方は餘りにきれいな好きであり、衛生家であり過ぎる。あなた方は支那人と握手すれば翌朝にはきつとチフスカデフテリアにかかる、或はかかると思つてをられる。あなた方の神経は甚だしく病的であり、精神の構造は甚だデリケートに出來てゐる。あなた方は太平洋の向ふから送つてくるサラダ菜を食べてをられるのである。こんなことは敢て驚

くに足りない。と云ふのは、あなた方は阿弗利加のチャングルの中にゐるときでも永遠にトーストやマーマレードを注文し、熱帯でも厚い毛の靴下をはきたがるといふ専らの評判である。あなた方の多くは支那で永年暮らしてゐながら、ほんたうの支那茶を飲んだことがないし、リプトン茶を棄てようもしない。そして多くは臨終までリプトンを飲みつづけるのである。かういふことは勿論、あなた方に關係したことで、私がとやかく云ふことではないかも知れない。しかし、お節介なやうだが、私もあなた方に對しては何度も匙を投げました。私は上海の外國人に支那茶を無理に飲ませようとはしないのであります。

吾々支那人の方にも罪はある。それは、皆さん方が好んでよく云はれるやうに、吾々は『腹の底の知れない人種』であるからです。何事によらず、すべてが逆になつてゐる。吾は老人を尊敬するが、あなた方は輕蔑する。吾々は若い者を輕蔑するが、あなた方は讚美する。吾々は女性を輕蔑するのであるが、あなた方はそれを臺の上に祭り上げるのである。これでは一たい、あなた方がどうして吾々を理解することが出来るでせうか、また吾にしてもどうしてあなた方を理解することが出来るでせうか。あなた方がロバート・ハート卿のやうな男の銅像を灘路（シンド）に建てるといふなら話はよく分る。なぜならば、それは男

である。しかしながら女の銅像を建てて、裸體にせよ着物を着てゐるにせよ、萬人に見せるためにこれを臺の上に載せ、『正義』だとか『自由』だとかいふ名をつけるとなると、吾の眼から見て、不謹慎でなければ、するぶん可笑しいと思ふ。支那と歐羅巴の文化の相違がどれほど深く、かつ根本的なものであるかは、これを以てしても御諒解が行くと思ふのであります。そしてすべてのうちで最も大きな相違は吾々の價値の標準がお互に違ふこととであります。あなた方は價値を精神的と物質的とに分ける。ところが吾々はそれを一つのものとして混同してゐるのである。あなた方は同時に精神的であり、また物質的であることは出来ない。しかし吾々にはそれが出来るし、何らそこに衝突しなければならぬものを感じないのであります。あなた方の精神の故郷は天上にあるが、吾々のは地上にある。言葉を換へて云へばあなた方は基督教徒であり、吾々は異教徒なのである。あなた方の基督教徒としての誇りは異教徒の文化の美を見る事を絶対に禁じてゐるのであります。雙方ともかなり意固地であるやうに思はれます。眞の英國人は支那人に理解されようとは考へないし、一方眞の支那人もまたこれと同様、外國人に理解されようとして一向に骨を折らない。これが今日の状態であります。民族的自負心といふことになると、支那人

や英國人には兜をぬがざるを得ない。兩方とも同じやうに頑固で互に折れようとはしない。それでゐて底の方では多くの點において雙方非常に似てゐるところがある。例へば論理的すぎる議論は信用しないこと、また『渦中を切り抜ける』手際の上さなどがそれでありま
す。支那人や英國人の頬は物思ひで蒼ざめることは決してない。今日、英國は不知不識の
うちに一つの社會主義國家を成してゐる。明日には王様のをられる共產主義國家になるか
も知れない。そしてあなた方英國人は怒りと怖れとを以て相變らずボルシェヴィズムを呪
ふであらう。私が英人を取り上げて問題にするのは、英人が上海の租界において最も勢力
をもつてゐるからである。私は英人に對して、自國民に對すると同様の最も大なる敬意を
拂つてゐる者であります。私は決して英蘭人イギリス人を攻撃しない。攻撃するなら蘇格蘭人スコットランド人と愛
蘭人オランダ人だけを相手にするでありませう。ともかくも支那人と英國人とは雙方にかくの如き共
通した特色があるにも拘らず、似てゐると思ふものは誰ひとりとしてないのであります。
現在、あなた方にはあなた方の新聞がある。これがためにあなた方は次第々々に支那人を
理解することが出来なくなつて行く。また吾々には吾々の新聞がある。これがために吾々
の方でも次第々々に外人を理解することが出来なくなつて行く。あなた方はあなた方の新

聞を読み、吾々は吾々の新聞を読む。そして吾々が雙方ともに読めば読むほど誰もが腹を立てるやうなことになる。支那の事物に少しでも愛着を感じる英人は同國人仲間から『變人』だと思はれるし、英人が好きだとあけすけに云ふ支那人は『非國民』扱ひにされるのです。社交的な集りに時としてかういふ『變人』を一、二見かけることがある。外人連中にまじつて支那人がゐたり、支那語の喋れる英人がゐたりするけれども、かういふのは仲間外れの間である。かういふのがまづ吾々の現状なのであります。上海における支那と外國との關係は本質的には阿弗利加の黒人相手の商賣と同一の水準にあります。一は他から象牙を求め、他はびかびかした安物を求める。吾々雙方の間には、いはば人間的に何らの合言葉もないのであります。

私は與へられた二十分間に、皆さんの眼の前で、この支那の長城を破壊して支那人といふものをば理解させて上げようとはしますまい。それでは物事を餘りにあつさり考へすぎることになる。なぜかと云ひますと、一人の支那人が皆さんのところへやつて来て、皆さんの部屋で二十分間、しかも皆さんの國の言葉で喋る。そして、それで皆さんが支那人を理解したと考へる、それでは皆さんにとつて餘りに勝手のよすぎる話だと思ふからであり

ます。そこでこの二十分間には、支那語で『今日は』とか『有難う』とか『御免なさい』とか云ふことを教へることにしませう。皆さんはまだかういふことも御存知ない筈である。しかしながら支那人を正しく理解するやうになるためには、かういふことが第一歩なのであります。私はただ單に一つの見地と多少のヒントを與へるだけにしたいと思ひます。

支那人と外國人との根本的な相違は、あなた方が大人らしく考へるやうな事に對して支那人が多くの場合子供染みた考へをもつてゐるといふこと、さうして、あなた方が多くの場合子供染みた眞似をする事に對して支那人の方は大人らしく考へるといふことであります。この點がお分りになれば、それだけで既に支那民族をより深く理解することになりますのであります。

若しも皆さんが支那人を理解しようとされるならば、一方において今少しく子供らしくなると同時に、他方においてははもつと老人の氣持になつて、老人らしく素樸でなくなることを學ばなければなりません。

そこで私の第一の忠告はかういふことであります。即ち支那人を理解しようとするには『子供同様になれ』といふことである。そして、これには一般的な理由があるとともに特

殊な理由がある。まづ一般的な理由からお話しませう。子供といふものは大人よりも外國語を早くおぼえるばかりでなく、外國人をよく理解する。その理由は同じであつて、即ち、子供は自分と全く異つた民族を理解する上に妨げとなるやうな精神ならびに肉體上の習慣を未だ形づくつてゐないのであります。子供はより開けた心をもつてゐる。子供はより鋭い知識慾と理解慾をもつてゐる。そして自分の周圍の世界に對してより大きな科學的好奇心をもつてゐる。子供にはまたより大きな冒險心がある。一方、大人はどうであるかと云へば、概して苔が生えて霧が立ちこめて色褪せて氣が抜けてしまつてゐる。大人の精神は或る筋路を辿つて、そこから逸れようとはしない。ちやうど荷馬車が田舎路のぬかるみにはまり込んだやうなものであります。支那人を理解するには、慣習的な模倣たる大人の考へを忘れてしまはなければならぬ。宗教だの株の配當だのデモクラシーだの出世だのいふことを忘れなければ駄目である。心機をやや一新して、人世をもつと素樸にもつと眞實に眺めなければならぬ。あなた方はこのことを子供から學ぶことが出來ます。なぜなら子供は物事の價値をより正しく計るからであります。物事の價値をきめるのに間違つた尺度がいろいろあるものですが、それは子供が一向に知らないやうな事なのであります。バ

「ナード・ショーが子供の頃、父から乾物屋の兒と遊んではならぬと云はれました。と云ふのは、ショーの父親は卸商であつたが、その兒の父親は小賣商人であつた。ショーの父は卸と小賣とではもちろん非常な違ひがあると思つてゐたのでしたが、しかし息子のショーはその點を見落したのであります。二人のうちどちらが物事をより眞實に又よりハッキリと見てゐたか、申すまでもありません。大人の多くは大班クインであるが故に大班クインに感心するのであるが、子供たちは大班クインだからと云つて大班クインに一向感心しないのであります。子供たちにはあなた方のやうなお金持の氣質もなければ宗教的な氣質もない。あなた方のやうに郊外居住者の思想もなければ感情もない。子供たちはよい人か悪い人かで好きにもなれば嫌ひにもなる。子供は單純な心をもつてゐる。そこで假りにも支那人を理解したいといふからには、子供のこの單純さと、そして大人よりもハッキリしたその價值判斷によるほかはないのであります。

「譯註」會社の重役級などを指して云ふ上海語。ボスの意。

ところで支那民族を理解するには、何をさし置いても子供に似ることを學ばなければなりません。支那民族は或る點において、本質的により素樸で子供らしい民族だからであり